

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩の道コミュニティエリア再生事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 縁家 0261-22-4018
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	1,700,000円 (うち支援金: 1,133,000円)

事業内容

当施設を博物館・資料館としてだけでなく、地域の住民が集い交流の場としてや様々な活用ができるためコミュニティスペースを設置・拡張し事業を行って来ました。

本年度は更に、活用希望の多い土間をコミュニティスペースとして整備し、建物や千国街道の歴史にちなんだ講座を開催しました。また、文化講座やお料理講座・ウォーキングイベントも継続実施しました。

これらのことにより千国街道や地域文化・歴史を伝え、なおかつ、当施設の建造物の良さや利用価値を見出しました。



【文化講座の様子】

【目標・ねらい】

- ① 郷土食の継承
- ② 地域文化の継承
- ③ 観光振興

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 「えご料理」がご縁となり、他地域と合同で勉強会を開催、地域の特色を伝えることができた。
- ② 千国街道やそれにまつわる文化・歴史・建造物についての講座を開催し、多くの方々に伝えることができた。
- ③ ちょうじや縁日の体験メニューから、観光客向けの体験へと発展させ、多くの方々に地域の魅力と共に伝え楽しんでいただけた。

※本年度講座・イベント参加者数：285名

※自己評価【 A 】

【理由】

土間をホールにし講座開催したことで、建造物の特徴をより伝えられた。講座等参加者が285名と昨年より135.7%増となり事業効果が得られて来ている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3年間の事業を通し、当施設の建造物からも地域の文化や歴史を知り、この施設だからこそ伝えられることがありました。今後も各種講座やイベントを開催し多くの方々に地域の食や文化・歴史を伝えると共に、地元小中学生の学習の場として活用していただき学んでいただけるようにしていきます。様々な交流の拠点となることで、更に自立を目指します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある